

科目名 Subject	写真表現演習 Photographic Work			教員名	西 将隆/浦川 良将	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	△			○		
科目の概要	一眼レフカメラやスマートフォンを使用してビューティ、ファッション、ポートレート等の撮影を行います。 授業用のカメラは用意してあります。自分のカメラを持っている方は持ち込みも可能です。 人物撮影を中心に屋外やスタジオでの撮影方法を学びます。また授業内で撮った写真は一部インスタグラムで共有していきます。 これまで培ったヘアアレンジやメイクのスキルを生かして個人やチームでのクリエイティブな撮影を経験してください。 作品作りを通してSNSへの発信、ポートフォリオ用の写真を制作することができます。					
授業方法	対面授業を基本といたします。					
授業の目標	昨今の美容業界ではSNSを駆使して自身の作品を発信していくことが必須となっています。この授業では年齢・性別を問わず人物を美しく撮るためのカメラの操作方法や照明ライティングの技術を身につけることができます。また、ソフトウェアによる加工で写真を完成させることも重要です。スマホのアプリを使い、写真の作品性を高めることができるような知識を身につけることができます。この授業で撮った作品は就職活動でもポートフォリオとして使うことができます。					
時間外学習 (予習・復習)	毎授業ごとにやるべき予習・復習の内容を説明します。 予習をすることで次回授業の撮影プランを立てることができます。（15時間） 撮影した写真を復習してもう一度見直す事で技術を定着させることができ、次回のクオリティアップとなります。（15時間）					
教科書・教材	教科書		教員作成資料			
	教材		なし			
	使用設備・備品		カメラ、スタジオ、スマホ、照明機材			
	参考文献		なし			
評価方法	個人課題50% グループ課題25% 授業参加意欲25%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	SDカード（16G以上を推奨）を各自持参して下さい。snapseed(画像編集アプリ ios, android)					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				
						YAMANO 2021

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	講師自己紹介、授業内容紹介	授業、評価の内容を深く理解することによって、表現したい写真への目標を立てることができる。	授業で必要な物とアプリの説明。SDカードの用意
第 2 回	カメラの操作① 目にピントを合わせた写真と仕上げ	オートフォーカスでピントが合わせアプリで写真の加工をする事によって、綺麗な写真を取ることができるようになる。	配布プリントを参照しカメラ操作の復習。 絞りについて予習をする。
第 3 回	カメラの操作② 絞りを使い背景をボカした写真を撮る	絞りを変えて撮影し、被写界深度がどう変化するのか深く理解することによって、様々な表現ができるようになる。	配布プリントを参照しカメラ操作の復習。 シャッタースピードについて予習をする。
第 4 回	カメラの操作③ シャッタースピードを使い静止した写真とブレた写真を撮る	シャッタースピードを変えて撮影し、それによりどう変化するのか理解することによって、様々な表現ができるようになる。	配布プリントを参照しカメラ操作の復習。 絞りとシャッタースピードの関係性を予習する。
第 5 回	カメラの操作④ ISOを明るさによって使い分ける方法	ISOを変えて撮影。明るさとノイズの変化を理解することによって、様々な表現ができるようになる。	配布プリントを参照しカメラ操作の復習。 絞りとシャッタースピードとISOの関係性を予習する。
第 6 回	カメラの操作⑤ Mモード・マニュアル撮影	全ての数値を自分でコントロールし、課題に沿った写真を撮ることによって、マニュアル撮影ができるようになる。	配布プリントを参照しカメラ操作の復習。バストアップ写真について予習をする。
第 7 回	ポートレートの撮影	全身・バストアップ・顔の3枚を撮影・提出する。光を見る力をつけることによって、人物撮影の構図や立体感を知ることができるようになる。	アプリの使い方等を予習する。いろいろな写真の表現方法を調べておく。
第 8 回	ポートレート写真の仕上げやレタッチ	アプリを使い、前回撮った写真を加工することによって、綺麗な写真に仕上げることができるようになる。	アプリを使った写真のレタッチや加工の方法の復習
第 9 回	ポートレートの総評	提出した写真を見ながら総評をする。写真の知識を深めることで応用することができる。	色々な写真のポージングを予習しておく。
第 10 回	光源と色温度	色温度の学習。光源による色味の違いをアイランプとストロボを使って体験し、目に見えていない色の感覚をつかむことができるようになる。	好きな写真のライティングや色温度がどうなっているのかを考えてみる。
第 11 回	ライティング	照明の方向や強さ、多灯ライティングを理解することによって、様々な表現ができるようになる。	写真を見て光の向きや質を考えてみる。
第 12 回	作品撮り企画会議①	グループに分かれテーマを企画する。チームワークで制作することの重要性が理解できるようになる。	撮影対象、撮影イメージを決める。必要なものの確認と用意。
第 13 回	修了制作 作品撮り①	チーム一丸となり写真作品を作る。役割分担をすることにより、効率的に作品制作をすることができるようになる。	課題③次週に向けての準備や構図等を考えて予習する。
第 14 回	作品撮り企画会議②	グループに分かれテーマを企画する。1回目の経験を踏まえ、さらに高度なチームワークで制作するイメージができるようになる。	撮影対象、撮影イメージを決める。必要なものの確認と用意。
第 15 回	修了制作 作品撮り②	チーム一丸となり写真作品を作る。役割分担をすることにより、効率的に作品制作をすることができるようになる。	提出する写真を仕上げてキャプションをつける。